

## 退職にあたって

広 倉 覚



退職にあたって、みなさま方に深くお礼を申し上げます。今までどうもありがとうございました。

さて私は1979年（昭和54年）3月17日に名古屋大学プラズマ研究所に文部技官として入所しました。それから、38年が過ぎました。

記しておきたいことが二つあります。まずは、研究・技術的なことがいろいろ学べたということです。これは属した組織を含め人間関係に恵まれたということでもありました。また男の厄年の頃にたいへんなこともありましたが、周りの皆様のおかげで乗り越えられました。この頃、私の専門は「真空」ということで、「真空」の仕事に専門性をもってすることができました。「真空」について就職後初期に学んだこと、そのことがわが身を助けてくれました。

次はハングルについてです。私は1984年頃に文字のおもしろいことからハングルを勉強し始めました。もちろん趣味として勉強していたわけです。現在NIFSには日韓核融合交流事業があります。そしてハングルの学んでいたことがきっかけで私は韓国の大田市にある国家核融合研究所（NFRI）のKSTAR実験装置に2泊3日のとても貴重な出張ができました。良い経験をさせていただきました。

た。NIFSでは韓国語講座が開かれています。たえず数名の方が参加していますが、日韓交流の基礎としてできるだけたくさんの方がハングルに接していただけたらいいなあと私は考えています。趙先生、生徒のみなさんいろいろお世話になりました。カムサハムニダ。

ふりかえって、仕事とはいったいなんなんだろう？はじめ私は仕事はただお金を稼ぐために時間を費やすものだと思っていました。しかし私は仕事を通して、「自分の頭で考えて自分で判断し、そして実行する。」というとても大切なものを得たように思っています。

退職後はどうするかですが、まだ決めておりません。思い出のある韓国へは行きたいとは思っていますが・・・

（技術部計測技術課放射線計測機器制御技術係）

## TOPICS

トピックス

### 職場体験実習を受け入れました

研究所では、近隣の中学校・高校が行う職場体験学習に協力しています。2月1日から3日に土岐商業高校から8名の生徒が来所し、技術部と管理部に分かれて様々な職場体験実習を実施しました。

技術部では、実験装置を遠隔で操作する機器の管理等を体験しました。また管理部では、旅費などの計算や伝票の確認作業、来所者の受付業務等を体験しました。

こうした職場体験を通じて、研究所には研究以外にもいろいろな仕事があり、それらに多くの人に関わっていることを実感してもらうことができました。

